

団体名		公益財団法人 武蔵野生涯学習振興事業団						
①	指 標 名	お客様満足度の向上			目 標 値	体育施設事業の参加者の平均満足度及びプレイスマonitoring総合満足度ともに87%以上	実 績 値	①体育施設事業92.4% ②プレイス満足度93.4%
	過 去 の 実 績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達 成 率	100.0%	達 成 状 況	未実施・未達成・ 達成
	(単位: %)	体育施設事業91.0% プレイス満足度95.3%	体育施設事業90.8% プレイス満足度86.8%	体育施設事業93.0% プレイス満足度92.9%				
	取 組 内 容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 体育施設ではスポーツ教室・イベントすべてにおいてアンケートを実施している。「満足度」だけではなく「初参加者の割合」「出席率」「応募倍率」「身体・生活に良好な変化があった人の割合」「交流の広がりがあった人の割合」「活動の継続を希望する人の割合」「参加者の負担率」「非営利組織による同様事業の実施状況」「営利団体による同様事業の実施状況」「情報取得源」など多岐にわたる観点から事業評価を行い得点化して事業の見直しを常に実施している。プレイスでも同様の分析を行い高い評価を得ているが、事業参加者以外の来館者の声を重視してモニタリングの総合満足度を目標値としている。						
	一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 体育施設事業の参加者はここ数年安定して9割以上の満足度を得ている。年々、施設の老朽化によるハード面での不満の声は多くなっているものの、ソフト面としての事業のアンケートでは高い満足度を得ている。プレイスにおいてもモニタリングで9割前後の満足度を得ているが、これを裏付けるように来館者数前年度と比較して20万人増の195万人を記録している。						
二 次 評 価	高い満足度を数年にわたり維持し続けていることを高く評価する。引き続き満足度の維持向上に取り組んでいただきたい。							
②	指 標 名	自主財源の確保			目 標 値	参加料収入等 44,000千円	実 績 値	45,836千円 (34,924千円)
	過 去 の 実 績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達 成 率	100.0%	達 成 状 況	未実施・未達成・ 達成
	(単位: 千円)	39,333千円 (33,463千円)	43,076千円 (34,526千円)	44,534千円 (34,005千円)				
	取 組 内 容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 自主財源は「基本財産受取利息」+「参加料」+「業務委託収益(収益事業)」である。(カッコ内の数値は参加料のみ)基本財産は預金だけでなく安全性を第一に運用しており、参加料についてもアンケートをもとに適正な金額を設定している。業務委託収益については、新たな収益事業を検討する。						
	一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 自主財源の確保は、単に剰余金を貯めこむのではなく、安定的な事業運営や事業団の抱える諸課題や利用者の利便性向上のためにも必須である。中長期的には使途目的を明確にしたうえで財政計画を策定するなど自主財源の確保に向けて市の理解を求めている。						
二 次 評 価	参加料及び自主財源全体でも前年を上回り、目標を達成したことを評価する。引き続き自主財源の確保に努めていただきたい。							
③	指 標 名	コンプライアンスの強化			目 標 値	①人材育成計画の策定 ②職員行動指針の策定	実 績 値	①策定済み ②策定済み
	過 去 の 実 績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達 成 率	100.0%	達 成 状 況	未実施・未達成・ 達成
	(単位:)	リスク管理規程等の整備	①中期計画の策定 ②嘱託職員規程整備	①規程の点検見直し ②全職員対象の研修				
	取 組 内 容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①の人材育成計画は「人材育成方針」として職員のプロジェクトチームが策定に取組んだ。3月末に素案を完成し、職員全員に意見を募集したうえで平成29年5月に嘱託職員を含む全職員に配布した。 ②の職員行動指針は、ポスター型・机上型・携帯カード型の3種類を作成し、平成28年度内に全職員に配布した。						
	一 次 評 価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 これらの計画や指針の策定には、体育施設事業部とプレイス事業部の固有・嘱託職員が連携・協力して時間をかけて策定したものである。さまざまな部署に属する職員がボトムアップで策定することで、モチベーションの向上や自主的な学習、職員の同士の交流にもつながり、期待以上の成果を上げることができた。						
二 次 評 価	人材育成計画及び職員行動指針の策定を評価する。今後も個々の職員に対し周知とともに理解を促し、形骸化しないよう取組みを進めていただきたい。							